

平成20年度第1回 芦屋市立美術博物館協議会 会議録

日時	平成21年3月25日(水) 10:00~12:00
場所	北館4階教育委員会室
出席者	会長 神木哲男 副会長 西山 厚 委員 秋山道廣 委員 林 哲也 委員 川口研司 委員 大江紀子 委員 中田伊都子 委員 成田直美 委員 山内修身 欠席委員 戸田清子 事務局 藤原教育長 橋本社会教育部長 川崎社会教育部次長
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
傍聴者数	0人

1 任命書交付

博物館法第20条第1項, 芦屋市立美術博物館条例第13条の規定に基づき, 任命書を交付した。

2 会長・副会長の選出

芦屋市立美術博物館条例施行規則第10条の規定に基づき, 神木委員が会長に, 西山委員が副会長に選出された。

3 議題

- (1) 芦屋市立美術博物館の概要について
- (2) 芦屋市立美術博物館の運営基本方針について
- (3) 平成21年度事業内容について
- (4) 芦屋市立美術博物館協議会の今後の予定について

4 審議内容

上記の議題について, 事務局から説明を行った。

[主な質疑内容]

(会長) 議題の、芦屋市立美術博物館の概要について事務局の方から説明をお願いします。

(事務局) <芦屋市立美術博物館協議会の目的の説明>

<芦屋市立美術博物館の概要の説明>

(会長) 事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見、ご不明の点ございませんか。

(意見なし)

(会長) 続きまして、芦屋市立美術博物館の運営基本方針について説明をお願いします。

(事務局) <芦屋市立美術博物館の運営基本方針について説明>

(会長) この部分は、今日の中心のひとつになる。
平成14年11月15日という日付の芦屋市立美術博物館運営基本方針は答申を受けて、芦屋市の教育委員会で作られた。
ただ、平成14年の段階では芦屋市文化振興財団はまだ存在していた。
若干今とは違うが、今も基本方針にそって運営している。

(林委員) 今日の協議会と運営委員会の違いは。
協議会のメンバーについて、留任されている方はいるのか。

(川崎次長) 協議会は、博物館法で設置することができる。
運営委員会はや綱を制定して設置していた。
運営委員会は平成14年に解散し、その後や綱も無くした。
協議会は平成15年頃から3回ほど開いているが、その後開いていない。
以前の委員は任期が切れている。
これからは、この協議会を常設としたい。最低年2回(決算・予算の報告)はご意見をいただき、活かしていきたい。

(林委員) 位置付けがよくわからなかったのです。

- (橋本部長) 今回の委員は市民目線ということにも配慮してお願いした。
- (藤原教育長) 運営委員会と協議会の違いについて、地震後、美博の運営は偏っているのでは、一般人の理解できない展示をしているのでは、と教育委員の中から出た。このままではいけないということで、できたのが運営委員会で、その答申を受けてできたものが、今提示したものである。なので、協議会とは別組織だと理解している。
- (会長) その他、ご意見はありませんか。
- (大江委員) 平成3年度の入館者は。市民に受け入れられていたのか。
- (川崎次長) 平成3年度は36,000人くらい。今は、24,000人くらい。平均2～3万人くらい。
- (会長) 今は上向いているのか。
- (川崎次長) 芦屋ミュージアム・マネジメント委託直前よりは少し増えている。
- (藤原教育長) 市の支出している費用、今は、8,000万円くらいで、苦しいやりくりをしている。
- (橋本部長) 大きな展示は費用がかかってできない。
- (成田委員) 美術博物館へは2～3回行った。正直、玄人うけするものに感じ足が向かない。
芦屋市内なのにバスに乗らないとダメ。交通費がかかるのは不思議。入館と言う意味で、もっと市外からきてもらうことを考えてほしい。ヨドコウ迎賓館など、いいものには足を運ぶ。
- (会長) これは難しいが、芦屋の美術博物館でしか見られないものをこれから考えていかないと。
具体美術を避けてとおるのがいいのか、すばらしさをアピールするのか骨を折る必要がある。
基本方針どおりにうまくいっていないので、もう少し具体的な展示等をうかがってから皆さんの意見をお聞きしたい。
西山先生いかがですか。
- (副会長) みなさん、芦屋が大好きですか。芦屋はどこがよいですか。
私は、奈良で仕事をしているが、奈良の人は奈良のことをよく知らない。

奈良の良さを伝えたい。

芦屋が魅力的なら、9万人に伝えるべき。工夫するべき。

2万～3万の数字は論外。どこに魅力があるのか、どんないいところがあるのか。ないなら、やめるべき。博物館・美術館が本当に社会に必要なのか。本当に必要と考えるなら、工夫すべき。

全部芦屋でなくてもよいのでは。巡回展を取ってもよいのでは。うまくすれば、お金かからない。考えてもよいのでは。

(会長) 巡回展、今までもしていない？

(藤原教育長) 今まで、話はあったが機運にならなかった。

美術博物館も、枕のコレクションの寄贈を受けたが、貸してくれという声がある。逆に我々が巡回展を引き受けるなど、今後考えるべきでは。

(副会長) 奈良市には、小学校が48校ある。世界遺産学習を10年近くやっているが、成果が上がっていないと教育委員会は考えている。

仕組みを作れないのか。

昨年、5年生3,300人が、奈良市の予算で順番に国立博物館へ来ることになった。

知識より、大事なことさえ伝えられればよいということに特化した30分・解説ボランティアの展示案内30分、計60分。奈良が大好きになる60分に。

地元の方は地元に関心がない。

子どもたちが美博へ行く仕組みを作れないか。芦屋に住んでいて良かったと思えるように。それを伝えられるような展覧会・教育普及活動、何か考えられないか。

個人的な意見だが、抽象画が好きな人は現実に少ない。抽象画は少なめにして多くの方が共感できるようにわかりやすく。わかりやすいということは、レベルを下げることではない。大事なことは、わかりやすい。

色んなことができると思う。

(山内委員) 芦屋市は、住みよい町を標榜している。震災前から運営面で問題があった。震災以後、復興の中で、どうするかということがあった。

やはり文化は大事にしていかないと。学校教育面でも美博を大いに利用すべき。見直しながら運営していく。文化行政は芦屋の街づくりの柱。

(会長) 美博に芦屋の「西山 厚」を作っていないと。

行政へあえて申し上げると、多くの館長は嘱託・定年された方が多い。そ

れでうまくいかないからというのは、あえていうと行政の怠慢では。美術館・博物館のために色んなトライをして一緒に働ける人を。いわば、箱を作って魂を入れないことが多い。学芸員に、西山先生の思いを伝えていかないと。

(林委員) 芦屋の文化度は品格だ。芦屋の美術館は市民参加で補わないと。

(副会長) 奈良は、県立も市立もない。奈良国立博物館しかない。国立だが、奈良の博物館であるべきだと思っている。県立・市立でやることもやるべきだ。地元の商店街と連携して、奈良国立博物館の半券で割引になったり、逆に商店街で買い物して奈良国立博物館へ来ると入館料が割引になったりする。自慢に思ってもらえる町作りをしないと。支え、支えられるという関係を作っていくとやっていけない。

(会長) それでは、来年度の具体的な計画について説明をお願いします。

(事務局) <平成21年度事業内容について説明>

(会長) 何かご質問・ご意見をどうぞ。

(秋山委員) 造形教育展を美博でやると評判が良い。図工・美術が好きになってくれる。お金にかえられないものがある。しかし、我々は美術の大事さを伝えてこられなかった。

(橋本部長) 文化ゾーンには伊勢幼稚園がある。大きな展覧会は必ず見に行く。それが非常に教育上の効果がある。今度の谷崎潤一郎記念館の指定管理者は読売・武庫川学院事業連合なので、賑わうだろう。一連の文化に関わる「点」をネットワーク化していきたい。今後、お互いの良さが出せるような事業展開をしていきたい。

(川崎次長) 造形教育展は4,000人以上入る。これは、芦屋市教育委員会が行っている。

(大江委員) 市民がもっと参加できるものを。文化は感性だ。磨かないと光らない。美術館での展示は、やりがいがある。美術館への愛着心も変わってくるのでは。市民に対する窓を広げると良い。

(中田委員) 造形教育展を美術館で行うと、はりあいが出る。

芦屋はさりげないセンスを好む人が多い。グラフィックアートなどを取り入れると若い人も来るのでは。若者文化を知ろうとする年配の方も来られるのでは。

(会長) 素人の絵を飾るのは品位が下がるという考え方は間違い。考える必要ない。
まず、足を運んでもらうことが大事。色んな企画をしたら良いのでは。

(藤原教育長) 若い人に足を運んでもらいたい。若い人用のアートを取り入れていきたい。
子どもの展示は市民からの評判が良い。もっと市民の中へ入らないと。造形展の時、喫茶店もあるのだが、潤った。
館長の件は、責任者が、その館を愛し・育てる人が腰を据えて居るシステムを考えないと。

(橋本部長) 7月11日から芦屋市民ギャラリーで、井上正三さんの作品などを順次紹介していくことを考えている。写真・陶芸もしていきたい。

(会長) 巡回展もどこかで入れてはどうか。

(藤原教育長) 平成22年度は必ず。

(橋本部長) 保険料の問題があるが。

(会長) できるできないは別にして、色んなトライをしてほしい。
今日は、教育長から3つ提示があった。

- ① 基本方針の見直し
- ② 展示の具体的な案やチェック
- ③ 芦屋の文化を活かし、誇りを持てる方法

を考えていきたい。

今回は、初めて会合をもてた。今回はまとめてどうこうではなくて美術博物館の原状・持っている課題を話していただいた。何回か積み重ねないと思っている。

本日はありがとうございました。